

# 令和5年度紐づけ実施事業における農業委員会の手動紐づけ作業の概要

令和5年5月  
一般社団法人 全国農業会議所

## ◆ 0. 各資料の説明

## ◆ 1. 紐づけ実施事業の概要

### 1-1. 紐づけ実施事業の概要

### 1-2. 紐づけ地図を利用して農業委員会ができること

### 1-3. 手動紐づけ作業を行うことによる農業委員会のメリット

### 1-4. 手動紐づけ作業の実施スケジュール

### 1-5. 手動紐づけ作業の実施に向けて

## ◆ 2. 農業委員会に作業していただくこと

### 2-1. 紐づけ結果の入手

### 2-2. ①5月31日または②6月16日までに優先的に確認し作業すること

### 2-3. 急ぎではないが、農業委員会に対応すれば紐づけ率の解消が見込めること

ケース1) 大字・小字に外字が使用されている

ケース2) 農地台帳を最新化する、または令和4年度の紐づけ作業後に最新化している

ケース3) 地番図データを提供する

### 2-4. さらに紐づけ率を向上させるためには

## ◆ 3. 6月以降の対応について

## 0. 各資料の説明

資料番号	資料名	内容
1 - 1	農地情報紐づけのための手動紐づけへの協力依頼	紐づけ事業の実施主体である農林水産省から全国農業会議所への、手動紐づけ作業への協力依頼文書
1 - 2	eMAFF地図の取組及び令和5年度紐づけ実施事業について	eMAFF地図、紐づけ実施事業の概要説明資料
2	令和5年度紐づけ実施事業における農業委員会の手動紐づけ作業の概要（本資料）	【必須】紐づけ作業の実施にあたり、農業委員会の行う作業等について記載。まずは本資料をご確認ください。
3（本紙）	農地情報紐づけ作業の概要	【必須】紐づけ作業の概要説明。作業内容やスケジュール、紐づけ作業のデータの流れなどを記載
3（別紙1）	令和4年度紐づけ実施概要	令和4年度に実施した紐づけ事業の概要やスケジュールを記載
3（別紙2）	農地台帳紐づけ作業（台帳修正等）の作業手順書	【必須】紐づけ作業の実施にあたり、具体的な作業手順を記載
3（別紙3）	紐づけ補正ツールのログイン・確認手順書	紐づけ補正ツール上でマッチングした地番の台帳情報を確認する手順を記載
3（別紙4）	紐づけ作業におけるよくある質問と回答	農地台帳の紐づけ作業におけるよくある質問と回答の一覧
3（別紙5）	農業委員会毎の状態一覧（令和4年度紐づけ結果）	【必須】農業委員会毎の台帳の件数、マッチング率、位置情報付与を実施した農地台帳の抽出時点、紐づけの状態などを記した一覧
3（別紙6）	オンラインストレージおよびWEBフォームの接続情報	【必須】紐づけ事業者から紐づけ結果を入手したり、農業委員会から紐づけ作業の実施報告を行うためのオンラインストレージおよびWEBフォームのURL、ID、PASSなどを記載

## 1-1. 紐づけ実施事業の概要

- 農林水産省は、「eMAFF地図（農林水産省地理情報共通管理システム）」の運用に向けて、農地台帳など各種の農地に関する台帳情報を紐づけた地図（以下、「紐づけ地図」という）を作成するため、「紐づけ作業（位置情報の付与）」を実施。
- 令和4年度には、農業委員会サポートシステムで管理する全農業委員会の農地台帳との機械的な紐づけ作業を実施。



- ただし、農地台帳と地図データの地名・地番が一致しなかった農地については、紐づけがされていない（農地の境界線が地図上で示されない）。
- 令和4年度の紐づけ作業結果で地名・地番が不一致の農地については、農業委員会で内容を確認し、紐づけ先の対照リストを提供する、必要に応じて農地台帳の地番を修正する等の「手動紐づけ作業」を行うことで、「紐づけ地図」がより正確なものとなる





## 1-2. 紐づけ地図を利用して農業委員会ができること

- 「農業委員会サポートシステム」では、令和5年4月から、地図管理画面で「紐づけ地図」の区画を表示でき、目標地図の作成（色分け等）に利用できる

※農地台帳とのフルリンク機能は令和5年7月から利用可能予定

- 「ワンデスクシステム」では、令和5年4月から、「紐づけ地図」をタブレットの画面に表示して、地図上で農地を見ながら一筆ごとの意向を登録したり、意向情報や農地の現況の情報をもとに色分けした地図（現状地図）を表示できる

※地図を使わず、農地の一覧から一筆ごとの意向を登録することも可能

- 「eMAFF現地確認アプリ」では、令和5年7月から、「紐づけ地図」を使った農地の利用状況調査を実施できる

※令和5年6月末までは、農業委員会サポートシステムの農地区画・農地ピンを使って現地確認アプリでの調査が実施できる

7月から、紐づけ地図の区画を表示させて利用状況調査を実施できる  
（現在の農地区画・農地ピンも利用可能。  
農業委員会で利用する地図をいつでも切り替えることができる）



現地確認アプリの画面

「手動紐づけ作業」を実施し、紐づけ率を向上させることで、より多くの農地の境界が紐づけ地図に表示され、調査に利用可能

# 1-3. 手動紐づけ作業を行うことによる農業委員会のメリット

➤ 例えば現地確認アプリでの利用状況調査を実施するにあたって・・・

- ① 令和4年度の事業者による紐づけ作業の結果  
→ 4筆中2筆紐づいている



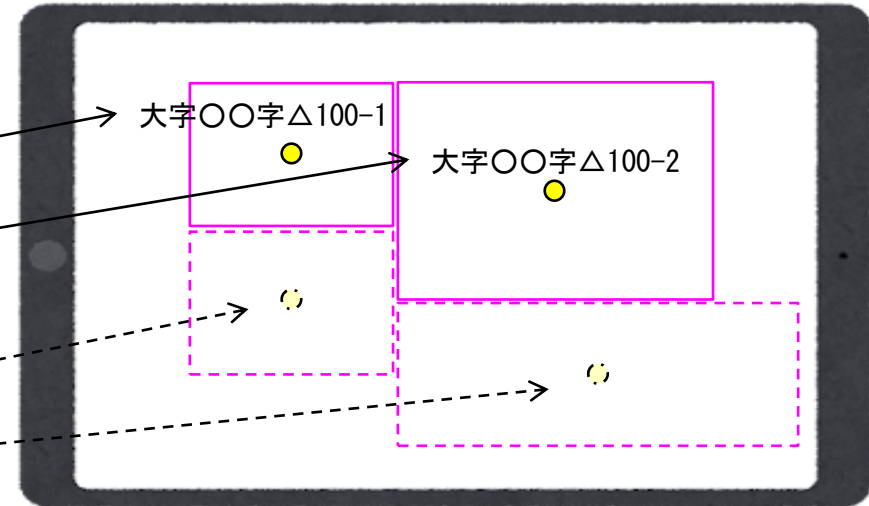
農業委員会

- ② 紐づけ結果を確認（大字や地番の不一致の内容を確認）  
手動紐づけ作業（地番の修正作業、大字の照合表を事業者へ提出等）を実施



- ③ 手動紐づけの結果を踏まえて事業者が再度紐づけ作業を実施  
→ 4筆中4筆が紐づいた

	農地台帳	地図データの地名・地番
紐づいている	大字〇〇字△ 100-1	大字〇〇字△ 100-1
	大字〇〇字△ 100-2	大字〇〇字△ 100-2
紐づいていない	大字●●字◇ 12-1-1	大字●●字◇ 12-1
	大字◎◎字◇ 12-3	大字□□字◇ 12-3



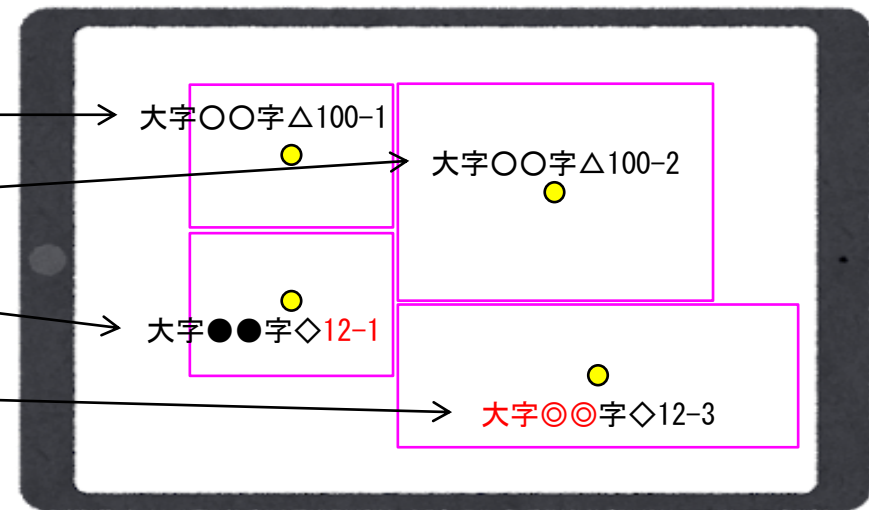
□ タブレット（現地確認アプリ）で表示される紐づけ地図

2筆しか  
現地調査  
できない



農業委員

	農地台帳	地図データの地名・地番
紐づいている	大字〇〇字△ 100-1	大字〇〇字△ 100-1
	大字〇〇字△ 100-2	大字〇〇字△ 100-2
より手動紐づけたに	大字●●字◇ 12-1	大字●●字◇ 12-1
	大字◎◎字◇ 12-3	大字□□字◇ 12-3



4筆とも  
現地調査  
できる



農業委員

地番が誤っていたので修正した

大字の照合表を事業者へ提供し紐づけ先を指定した

## 1-4. 手動紐づけ作業の実施スケジュール

- 農業委員会は、令和5年5月～12月にかけて「手動紐づけ作業」を行います。
- 「手動紐づけ作業」は、①5月31日または②6月16日までに実施した内容は、これを「紐づけ地図」に反映し、7月からより多くの農地で「紐づけ地図」を利用できるようになります。
- ➡ 令和5年度の農地の利用状況調査をタブレットで「現地確認アプリ」を使って実施したい場合、上記のスケジュールでできる限り手動紐づけ作業を行い、紐づけ地図の紐づけ率を向上させることが大切です。
- 6月16日までに作業しきれなかった部分については、③12月末までに「手動紐づけ作業」を実施すれば、その内容が令和6年度から「紐づけ地図」に反映され利用できるようになります。
- ➡ 管内すべての農地を一度に作業するのではなく、重点の地域から徐々に作業することが可能です
- 令和5年度の「手動紐づけ作業」の実施期限と、作業結果が反映され農業委員会サポートシステム・現地確認アプリで利用可能となるスケジュールは下記の3パターンです。（「資料3（本紙）農地情報紐づけ作業の概要」6ページ参照）

	手動紐づけ作業の実施期限	サポートシステム・現地確認アプリでの利用開始日
パターン①	5月31日まで	7月3日から
パターン②	6月16日まで (※地番図の提供期限：5月24日)	7月18日から
パターン③	12月末まで (※地番図の提供期限：11月末)	令和6年4月から

※12月末までに実施できなかった部分について、現在のところ、令和6年度の紐づけ事業の実施は未定です。

※「手動紐づけ作業」を実施しない場合は、令和5年4月現在で紐づいている農地のみが「紐づけ地図」として利用できます。

## 1-5. 手動紐づけ作業の実施に向けて

限られた時間・人員のなかで、急に「手動紐づけ作業」を実施してくださいと言われても、、、

紐づけ率が低い原因は農業委員会により様々なケースが考えられる



農地台帳は、正しく更新し管理しているから、農地台帳が誤っているはずがない。紐づけるために台帳の地番を修正することはできない

どこまで紐づけ率を向上させればゴールなのか

- 限られた時間での作業となること、また、手動紐づけ作業を実施することで、紐づけ地図の精度は向上しますが、そもそも地図データが管内すべての筆の情報を有しているとは限りません。そのため、100%にする必要がない、100%にはできない可能性もあります。

(例) 農地台帳上で、出作を管理するため隣接市の農地情報を登録し管理している  
貸付分割や内地番、仮地番など、登記情報に基づかない農地を管理をしている  
など、地図データ側に、該当する地番の農地がない



まずは紐づけ率が大きく改善する見込みのある地域や業務上早急に整備すべき地域などから、作業を実施していきましょう



## 2. 農業委員会に作業していただくこと

---

### 2-1. 紐づけ結果の入手

- 令和4年度の紐づけ作業結果は、オンラインストレージサービス（GIGAPOD）を使って、紐づけ事業者（SBT）から農業委員会へ直接お送りします。（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」12～15ページ参照）
- オンラインストレージサービス（GIGAPOD）は、農業委員会ごとに個別のURL、ID、PASSを発行します。
- URL、ID、PASSは、①農業会議からまたは②紐づけ事業者（SBT）からお送りします。

※②の紐づけ事業者から送られる場合のメールアドレス・件名等

メールアドレス：noreply@tech.softbank.co.jp

件 名：「【農地情報紐づけ実施事業】オンラインストレージサービスログイン情報」

- 農業委員会は、送られたURL等から、紐づけ結果をダウンロードしてください。
- オンラインストレージサービス（GIGAPOD）を利用できない農業委員会等（自治体のセキュリティの関係等）は、「農地情報紐づけ実施問合せ窓口」に連絡してください。別の方法でデータの送受信を行います。（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」16ページ参照）

## 2. 農業委員会に作業していただくこと

### 2-2. ①5月31日または②6月16日までに優先的に確認し作業すること

農地台帳の大字・小字と、紐づけ事業に活用した地図データの大字・小字との間に「表記ゆれ」（異なる文字表記）があると、紐づいていない状態となっています。

【紐づかない例】

農地台帳	地図データ
大字〇〇 <u>一</u> 丁目字▲▲ 1 0 0 - 1	大字〇〇 <u>1</u> 丁目字▲▲ 1 0 0 - 1
◎◎□□ 1 2 3 - 4	<u>大字</u> ◎◎ <u>字</u> □□ 1 2 3 - 4
大字☆☆字★★ 1 - 1	大字☆☆ <u>町</u> 字★★ 1 - 1

→これらの表記ゆれを解消することで、紐づいていない農地の多くが紐づけされる見込みがあります。

表記ゆれの解消のために、まずは[11ページ](#)の対応を行ってください。

## 2. 農業委員会に作業していただくこと

---

### 2-2. ①5月31日または②6月16日までに優先的に確認し作業すること

#### 1) 紐づけ結果のうち、大字や小字が一致していない農地を確認する

紐づけ結果のうち、マッチングランクがE、Dの農地（大字や小字が地図データの地名・地番と一致しなかった農地）を確認してください。

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」22～27ページ参照）

#### 2) 大字・小字の不一致を一致させるために、農業委員会サポートシステムの大字・小字リストを出力する

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」31ページ参照）

#### 3) 大字・小字リストに、対応する地図データの大字・小字の名称を入力する

農地台帳の大字・小字が紐づけ事業に使う地図データのどの地名に該当するのかをリストに記載してください。

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」32～33ページ参照）

#### 4) 作成した大字・小字の対照表リストを紐づけ事業者に送る

大字・小字の対照表リストを、オンラインストレージ（GIGAPOD）を使って、紐づけ事業者に送ってください。

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」34ページ参照）

#### 5) WEBフォームで、作業完了報告を行う

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳）の作業手順書」51～57ページ参照）

## 2. 農業委員会に作業していただくこと

### 2-2. ①5月31日または②6月16日までに優先的に確認し作業すること

※) 大字や小字に「空白（スペース）」が入っている場合

農地台帳において、大字や小字を、「大字 ○○」「字 ▲▲」のように空白を入れて管理している場合、

農地台帳	地図データ
大字_○○字_▲▲100-1	大字○○字▲▲100-1

といった表記となるため、紐づいていない状態となっています。

今後、紐づけ事業者（SBT）において、令和5年9月頃に、スペースを除外して紐づけられるように対応します。

→7月までに紐づけ地図に反映させる必要がない農業委員会は、作業は不要です。

7月までに紐づけ地図に反映させたい場合は、農業委員会において、大字・小字のリストを作成するか、農地台帳上で直接大字・小字の修正を行ってください。

（修正方法は「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」48～49ページ参照）

修正作業を行った場合は、WEBフォームで、作業完了報告を行ってください。

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳）の作業手順書」51～57ページ参照）

## 2. 農業委員会に作業していただくこと

### 2-3. 急ぎではないが、農業委員会に対応すれば紐づけ率の解消が見込めること

ケース1) 大字・小字に外字が使用されている

農地台帳において、大字・小字に外字が利用されている場合は、紐づけ作業時に「・」で表示されてしまい、

農地台帳	地図データ
大字・字▲▲100-1	大字○字▲▲100-1

といった表記となるため、紐づいていない状態となっています。

2-2. の方法では正しく紐づけがされないため、農業委員会サポートシステムの【補助機能】-【外字リスト】機能で、外字の代替文字を設定してください。

(「資料3 (別紙2) R5年度農地台帳紐づけ (台帳更新) の作業手順書」50ページ参照)

設定作業を行った場合は、WEBフォームで、作業完了報告を行ってください。

(「資料3 (別紙2) R5年度農地台帳紐づけ (台帳) の作業手順書」51～57ページ参照)



## 2. 農業委員会に作業していただくこと

### 2-3. 急ぎではないが、農業委員会で対応すれば紐づけ率の解消が見込めること

ケース2) 農地台帳を最新化する、または令和4年度の紐づけ作業後に最新化している

農業委員会サポートシステムの農地台帳情報が古く、**台帳の最新化を行うことで紐づけ率の向上が見込まれる場合は、台帳情報の最新化を行ってください。**

※台帳の最新化の方法※

i. 再アップロード

ii. CSV一括更新による台帳の更新

iii. 住基・固定台帳との突合作業

→具体的な方法等については、農業会議や全国農業会議所または農業委員会サポートシステムのヘルプデスクに確認してください。

※台帳情報の最新化を行う場合でも、**大字・小字の表記ゆれが確認される場合は、2-2. の大字・小字のリストの提出することを推奨します。**

現在の農地台帳の大字・小字の名称と、再アップロード・CSV一括更新実施後の大字・小字の名称は大きくは変わらないことが想定される（現在の農地台帳も、最新化するための台帳情報も、どちらも同じ既存台帳システムの台帳情報をサポートシステムに取り込む）ためです。

※**再アップロードを実施する場合は全国農業会議所への申請が必要なので、再アップロード作業を実施する1週間前までに全国農業会議所に申請書を提出**するよう厳守してください。（ほかの作業については申請等は不要です。）

最新化を行った場合は、WEBフォームで、作業完了報告を行ってください。

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳）の作業手順書」51～57ページ参照）

## 2. 農業委員会に作業していただくこと

### 2-3. 急ぎではないが、農業委員会で対応すれば紐づけ率の解消が見込めること

#### ケース3) 地番図データを提供する

紐づけ実施事業では、農林水産省が法務局から提供を受けた登記所備付地図（地図XML）のほかに、自治体から提供を受けた地番図や、農業委員会サポートシステムの農地ポリゴンなどの地図データを使って、農地台帳との紐づけが行われています。いずれかの地図データと紐づいていれば、紐づけ完了（マッチングランクA）となります。

このため、**現在紐づいていない農地について、地番図とは紐づく可能性がある場合**（地籍調査が終わっておらず、該当の地域の地図XMLがない場合など）は、**地番図を提供することが紐づけ率の向上に効果的**です。

令和5年度も、紐づけ事業者が指定する形式の地番図を期限までに提供すれば、紐づけをし直しますので、地番図の提供について、庁内の関係部署に相談・依頼をしてください。

（提供方法・提出期限などについては「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」58～59ページ参照）

※令和4年度の紐づけ事業において、自治体から提供された地番図を利用しているかどうか  
→（「資料3（別紙5）農業委員会様毎の紐づけの状態一覧（令和4年度紐づけ結果）のU列参照）→状況ごとの対応例は16～18ページ参照

なお、**地番図の出力にかかる経費**については、**令和5年度の機構集積支援事業を利用可能**です。

（参考）令和4年度からの経過

全国農業会議所より、令和4年10月26日付公文書「農地情報紐づけのための農林水産省への農地台帳データ等の提供依頼について」を発出し、紐づけ作業のための地番図データの提供について、提供可否や連絡先等について回答を収集

→紐づけ事業者（SBT）は、提供可能と回答した農業委員会等に対して提供方法などをメールにて連絡

→紐づけ事業者（SBT）は、期日までに農業委員会等から提供された地番図データを用いて、令和4年度の紐づけ作業を実施

# (参考) 地番図の提供状況・紐づけへの活用状況

## 紐づけ事業者（SBT）による地番図データの受領・紐づけ作業への活用状況（Excel内の記載内容）

ステータス名	説明	農業委員会様に対応いただく事項
①R3年度実証業務で取込み済み	R3年度紐づけ実証業務において地番図データを受領し、地番位置参照データへの取込みを完了しております。	-
②R4年度期限内に受領し、取込み済み	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領し、地番位置参照データへの取込みを完了しております。	-
③R4年度期限内に受領したが、大字コード表の追加受領等が必要でデータを再受領して確認を進めているため、取込み未実施	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、下記の理由で地番図データを再提供いただきました。 ・大字コード変換表が不足している ・シェープ形式（Shp/Shx/Dbf）ファイルが一部不足している ・シェープ形式（Shp/Shx/Dbf）ファイルは揃っているが、ファイル内の属性に大字名または大字コード名が定義されていない 等  再提供いただいたデータについては、R5年度での活用に向けて紐づけ実施事業体内で確認を進めております。	追加提供いただいたデータに不足等があれば、農地情報紐づけ実施事務局より再度ご連絡させていただきますので、その際不足分のデータ提供をお願いいたします
④R4年度期限内に受領したが、大字コード表の追加受領等が必要でデータ再提供を依頼中（一部、データの確認中）	上記に記載の理由により、地番図データを再提供いただけないかご確認いただいております。 一部の農業委員会様については、提供いただいた地番図データの項目の定義等についてご質問させていただき、紐づけに活用できないか紐づけ実施事業体内でデータの確認を進めております。	追加で依頼させていただいたデータが提供可能であれば、データ提供をお願いいたします
⑤R4年度期限内に受領したが、大字コードの追加受領等が必要でデータ再提供を依頼したところ、再提供不可と回答をいただいたため取込み未実施	上記に記載の理由により、地番図データを再提供いただけないかご確認させていただいたところ、再提供は難しいとのご回答をいただきました。そのため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑥R4年度期限内に受領したが、標準レイアウト以外のデータ形式のため取込み対象外	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、標準レイアウト以外のデータ形式（PDF形式等）のため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑦R4年度期限内に受領したが、個別理由（R5年度にデータ更新予定のため地番図データの取り下げの要望あり）のため取込み対象外	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、左記のご要望をいただいたため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑧R4年度期限内に受領したが、個別理由（個人情報保護の観点で地番図データ取り下げの要望あり）のため取込み対象外	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、左記のご要望をいただいたため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑨R4年度期限後にデータ受領したため、取込み未実施	R4年度期限後（12/17～）に地番図データを受領したため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。R5年度以降の活用に向けて、紐づけ実施事業体内でデータの確認を進めております。	提供いただいたデータに不足等があれば、再度ご連絡させていただきますので、その際は不足分のデータ提供をお願いいたします
⑩データ未受領（R4年度中に提供可能と回答あり）	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、「地番図の提供が可能」と回答いただきましたが、まだ地番図データをご提供いただけていない農業委員会様が該当します。	可能であれば、データ提供をお願いいたします
⑪データ未受領（R5年度中に提供可能と回答あり）	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、「地番図の提供は可能」と回答いただきましたが、紐づけ実施事業者から送付したWebフォーム等で「地番図データの提供がR5年度になる」と回答をいただいた農業委員会様のうち、地番図データをまだご提供いただけていない農業委員会様が該当します。	可能であれば、データ提供をお願いいたします ※ご提供いただいた時期によっては、R5年度内の紐づけ作業への取り込みが難しい場合がございます
⑫データ提供不可	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、「地番図の提供不可」と回答いただいた農業委員会様が該当します。	-
⑬未回答	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、地番図の提供可否について未回答の農業委員会様が該当します。	-

## (参考) 地番図の提供状況・紐づけへの活用状況

- ①、②の状態である農業委員会は、**対応不要**です。

※提供後に地番図の更新がされている場合は、改めて提供し紐づけし直してもらうことも可能です。

ステータス名	説明	農業委員会様に対応いただく事項
①R3年度実証業務で取込み済み	R3年度紐づけ実証業務において地番図データを受領し、地番位置参照データへの取込みを完了しております。	-
②R4年度期限内に受領し、取込み済み	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領し、地番位置参照データへの取込みを完了しております。	-

- ③、④、⑨の状態である農業委員会は、令和5年度の紐づけ作業において、紐づけ事業者（SBT）が地番図を活用した紐づけ作業を実施するため、農業委員会による**対応は基本的に不要ですが**、農業委員会等に対して**データの再提供やデータの項目の定義等についての確認を求められている場合は対応**をお願いします。また、今後、そのようなやり取りが発生する可能性があります。

※提供後に地番図の更新がされている場合は、改めて提供し紐づけし直してもらうことも可能です。

ステータス名	説明	農業委員会様に対応いただく事項
③R4年度期限内に受領したが、大字コード表の追加受領等が必要でデータを再受領して確認を進めているため、取込み未実施	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、下記の理由で地番図データを再提供いただきました。 ・大字コード変換表が不足している ・シェープ形式（Shp/Shx/Dbf）ファイルが一部不足している ・シェープ形式（Shp/Shx/Dbf）ファイルは揃っているが、ファイル内の属性に大字名または大字コード名が定義されていない 等  再提供いただいたデータについては、R5年度での活用に向けて紐づけ実施事業体内で確認を進めております。	追加提供いただいたデータに不足等があれば、農地情報紐づけ実施事務局より再度ご連絡させていただきますので、その際不足分のデータ提供をお願いいたします
④R4年度期限内に受領したが、大字コード表の追加受領等が必要でデータ再提供を依頼中（一部、データの確認中）	上記に記載の理由により、地番図データを再提供いただけないかご確認いただいております。一部の農業委員会様については、提供いただいた地番図データの項目の定義等についてご質問させていただき、紐づけに活用できないか紐づけ実施事業体内でデータの確認を進めております。	追加で依頼させていただいたデータが提供可能であれば、データ提供をお願いいたします
⑨R4年度期限後にデータ受領したため、取込み未実施	R4年度期限後（12/17～）に地番図データを受領したため、地番位置参照データへの取込みは実施していません。R5年度以降の活用に向けて、紐づけ実施事業体内でデータの確認を進めております。	提供いただいたデータに不足等があれば、再度ご連絡させていただきますので、その際は不足分のデータ提供をお願いいたします

## (参考) 地番図の提供状況・紐づけへの活用状況

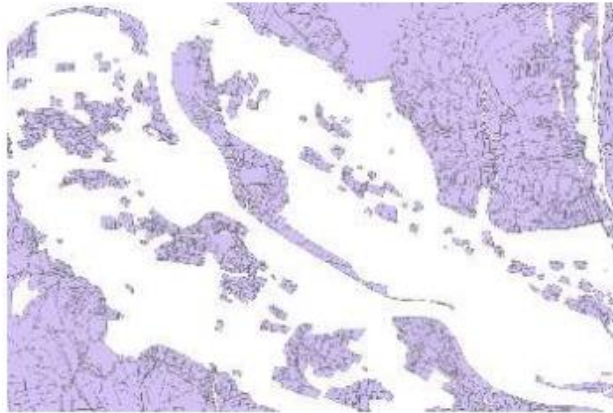
- ⑤、⑥、⑦、⑧、⑩、⑪、⑫、⑬の状態である農業委員会は、地番図データを提供可能と回答したが、まだ提供していない、地番図データの提供ができない、または提供した地番図を紐づけ作業に使用できない、または地番図データの提供について回答がない状況です。
- 令和4年度の紐づけ結果を踏まえ、地番図データの提供を希望する場合は、その旨を「農地情報紐づけ実施問合せ窓口」に連絡してください。  
 ※特に、⑩、⑪「データ未受領」の農業委員会等については、令和4年度中の紐づけ事業者（SBT）からの地番図データの提供に関する連絡が届いていない、見逃している可能性がありますので、状況をご確認ください。

ステータス名	説明	農業委員会様に対応いただく事項
⑤R4年度期限内に受領したが、大字コードの追加受領等が必要でデータ再提供を依頼したところ、再提供不可と回答をいただいたため取込み未実施	上記に記載の理由により、地番図データを再提供いただけないかご確認させていただいたところ、再提供は難しいとのご回答をいただきました。そのため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑥R4年度期限内に受領したが、標準レイアウト以外のデータ形式のため取込み対象外	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、標準レイアウト以外のデータ形式（PDF形式等）のため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑦R4年度期限内に受領したが、個別理由（R5年度にデータ更新予定のため地番図データの取り下げの要望あり）のため取込み対象外	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、左記のご要望をいただいたため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑧R4年度期限内に受領したが、個別理由（個人情報保護の観点で地番図データ取り下げの要望あり）のため取込み対象外	R4年度期限内（～12/16）に地番図データを受領しましたが、左記のご要望をいただいたため、地番位置参照データへの取込みは実施しておりません。	-
⑩データ未受領（R4年度中に提供可能と回答あり）	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、「地番図の提供が可能」と回答いただきましたが、まだ地番図データをご提供いただけていない農業委員会様が該当します。	可能であれば、データ提供をお願いいたします
⑪データ未受領（R5年度中に提供可能と回答あり）	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、「地番図の提供は可能」と回答いただきましたが、紐づけ実施事業者から送付したWebフォーム等で「地番図データの提供がR5年度になる」と回答いただいた農業委員会様のうち、地番図データをまだご提供いただけていない農業委員会様が該当します。	可能であれば、データ提供をお願いいたします ※ご提供いただいた時期によっては、R5年度内の紐づけ作業への取り込みが難しい場合がございます
⑫データ提供不可	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、「地番図の提供不可」と回答いただいた農業委員会様が該当します。	-
⑬未回答	R4年度に全国農業会議所様が実施した地番図データ提供確認調査票（2023/03/02時点取りまとめ）にて、地番図の提供可否について未回答の農業委員会様が該当します。	-



### (参考) 地番図の重要性

地番図があれば、地籍調査が終了していない地域においてもポリゴン情報が活用でき、カバー率も高いため、手動による確認の手間がかなり減ることが予想されるため、地番図の提供を前向きに検討いただければ幸いです。



地図XML (公共座標系のみ)



地番図



両者を重ね合わせた図

農林水産省説明資料より抜粋 (令和4年10月、  
eMAFF地図への農地情報紐づけに関する説明会)

## 2. 農業委員会に作業していただくこと

---

### 2-4. さらに紐づけ率を向上させるためには

#### 1) 紐づけ結果のうち、本番以下の地番が一致していない農地を確認する

紐づけ結果のうち、マッチングランクがC、Bの農地（大字や小字は一致しており、本番以下の地番が地図データと一致しなかった農地）を確認してください。

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」22～27ページ参照）

#### 2) 作業手順書を見ながら、紐づかなかった原因ごとに対応を行う

（「資料3（別紙2）R5年度農地台帳紐づけ（台帳更新）の作業手順書」36～44ページ参照）

### 3. 6月以降の対応について

---

- 5月31日または6月16日までに農業委員会で作業を行い、WEBフォームで報告した場合、その作業内容を踏まえて、紐づけ事業者（SBT）が6月中に紐づけ作業を行います。
- 紐づけ作業結果は改めて、農業委員会に共有されます。
- 共有された紐づけ作業結果を踏まえて、残りの不一致について、令和5年12月末までに必要な作業（2.の作業）を行うことができます。